

一般質問

教育問題について



本澤 節子 議員

質問…教師との関係での不登校児の増加がみられます。対策に第三者委員会の設置が求められています。いかがですか。

答弁…不登校児の増加は本市でも例外なく全国的な問題となっております。さまざまな要因が複雑に関係しており、教師との関係での限定は困難ですが、要因の一つであると認識し今後も不登校の減少と未然防止に向け

た取組みを行っていきます。第三者委員会の設置に関しては、大田原市いじめ問題対策設置委員会がその役割を有しており、既に設置されております。

質問…中学校に入ってから急増する不登校生徒について。小学校と違い担任の先生との関係が希薄になる、部活で躓く、厳しい校則など、急に大人の世界に押しやられ戸惑いの中の現象かと思

われます。4月から7月に担任との関係を密にする穏やかな時期を設けてはどうか伺います。

答弁…本市では4月から中学校区で小中一貫教育を実施しますが、不登校や中一ギャップ解消にも効果があると考えています。楽しい学校の実現については、教師の高い使命感と教育愛を持ち指導に当たるよう教職員研修を充実してまいります。

自転車に親しむ普及啓発及び環境整備について



櫻井 潤一郎 議員

質問…自転車教室の実績と課題について伺います。

答弁…市内小学校の4、5、6年生を対象に平成28年度から開催しており、本年度は、ふれあいの丘体育館で57回開催し、1828名、3年生には校庭等を利用し、17回、546名が受講した。そして中学生には、新学期が始まる4月に交通安全教室を市内全中学校で実施しており、

そのほか高齢者を対象に、高齢者自転車免許制度講習会を1回開催し、受講者は7名だった。また、昨年末に那須ブラーゼンの協力により、4つの自転車教室を開催したが、各教室定員20名に対し、脱補助輪教室は親子6組12名、女性限定ロードバイク安全講座は13名、ロードバイクビギナー講座は11名、ロードバイクトレーニング講座は8

名で、参加者からは大変好評であった。課題は、ロードバイクのレンタルの台数を確保できなかったこと、開催時期が寒い12月だったこと、安全に配慮しながら適切な指導をする観点から定員をもう少し絞る必要があること、次年度も各教室を継続して開催したいと考えている。